

## 第 33 回秋季シンポジウム（北海道大学）からの制度改革について

先刻来お知らせしている通り、2020年9月に北海道大学での開催が予定されている第33回秋季シンポジウムから“新しいセッション制”が始まります。これまでの秋季シンポジウムからの主な変更点は以下の通りです。

- (1) 候補会場の拡大のため、特定セッションの数を20程度とし、類似セッションの統合・共同開催をお願いする。
- (2) ポスター会場の選択の幅の拡大およびポスター発表の時間・空間の確保のため、ポスター発表を、他のセッションの口頭発表の時間帯に行う。
- (3) 聴講しやすいプログラム編成促進のため、①秋季シンポジウム小委員会が提示する大枠（分野キーワード）をセッション提案時に選択してもらう。②同小委員会が、類似セッションの統合・共同開催に積極的に関与する。③類似セッション間でのプログラム編成の協力をお願いする。
- (4) 最新情報の共有化のため、基調・招待講演のみからなる特別企画を別途募集する。従来の「男女共同参画」や「標準化」はここに含まれる。
- (5) セッションの固定化回避のため、代表・連絡役オーガナイザの連続就任を2年以内とし、任期後2年間は代表・連絡役以外の者も含めオーガナイザに就任できないものとする。
- (6) 参加者数増強のため、集まった講演数や前年度聴講者数も考慮してオーガナイザ費用やクーポンの配分を定める。
- (7) 会員数増強のため、非会員のオーガナイザや基調・招待・依頼講演者には、秋季シンポジウム終了後半年間、会員と同等のサービスを提供することを検討する。
- (8) 企業展示への来客者の確保と展示数増強のため、ポスター会場で企業展示を行う。

このような制度変更のもと、本年7月頃に第33回秋季シンポジウムへの特定セッションの提案募集を行いますので、特定セッションの提案を予定されている方々は、いつもどおり奮ってご応募ください。よろしくお願いたします。

なお、先日の年会パーティでもお伝えしましたが、第33回秋季シンポジウムの提案者会議は、本年10月27日～11月1日に沖縄にて開催されるPACRIM13の初日となる10月27日(日)16:00～17:00(Welcome receptionの直前)にPACRIM13の会場(沖縄コンベンションセンター会議棟A2会議室)で開催する予定となっておりますこと、ご了承ください。

秋季シンポジウム小委員会では、今回の変更を踏まえ、今後も会員の皆様の意見を真摯に伺いながら、参加する皆様にとってよりよい秋季シンポジウムとなるように制度等の改善を進めていきます。皆様のご協力なくして、よりよい秋季シンポジウムの実現は成し得ませんので、今後ともご指導ご鞭撻ならびにご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

(秋季シンポジウム小委員会主査 島根大学 笹井 亮)